

Vassily Kandinsky, Composition 8

Ⓐ ARTEÏA

ホワイトペーパー

2019年1月

概要

Arteiaはスイスを拠点とする独立企業で、SaaS形式でファインアートコレクター向けのプロのカタログシステムを提供しています。Arteiaが開発し、2018年10月にリリースしたアプリケーションが、すでに幅広い顧客に採用されています。当社は、300万ドル以上の元手を調達し、KPMGルクセンブルグのフィンテックインキュベーター、The KHUBEによって選定された、ルクセンブルクのフィンテックのイノベーションハブLHoFTのメンバーです。Arteiaのチームは、アート、ファイナンス、企業学などの専門家を長期的に集め、著名なアドバイザーやビジネスパートナーと協力しています。

美術市場は、デジタル革命の影響がまだほとんどなく、最も規制されていない市場の一つです。アートは最も収益性の高い資産種類であり、アート販売は数年前からオンライン販売とオンライン限定オークションの漸進的な導入によって急成長していますしかし、この市場には、透明性、流動性、及び美術品の履歴の欠如と言う3つの主な問題があります。データは集中管理されているため取得しづらく、美術品の転売は美術品の存在、信頼性、由来に関する情報不足により、複雑なプロセスとなっています。

これらの問題の性質は、ブロックチェーン技術が美術市場の信頼と流動性を高め、それによって新規参入者の拡大を可能にすることで、業界に重要かつ長期的な影響を与えることを示しています。

Arteiaは、美術市場の全関係者のニーズに対応するため、包括的なプラットフォームを作成することによって、アーティスト、コレクター、ファインアートエコシステムのプロのための革新的な分散型ピアツーピアサービスの開発を目指しています。

このプラットフォームは、アートエコシステムのさまざまな関係者間のマッチングを可能にし、不変の履歴追跡システムとピアツーピア貸出しプラットフォームを作成します。ARTKトークンは、プラットフォーム上で実行されるスマートコントラクトの原動力となり、ピアツーピア取引は匿名で仲介され、イーテルなど一般的な暗号通貨の使用を可能にします。このソリューションは、アートマーケットに必要な透明性と流動性をもたらし、取引手数料を削減するのに役立ちます。

その開発を加速するために、ArteiaはそのトークンであるARTKの販売を開始しています。これは将来的に、プラットフォームでユーティリティトークンとして機能するものです。集められた資金は、これらのソリューションの開発、マーケティング業務、新しいパートナーシップ、及びチームの拡張のために使われます。

Arteiaは技術が美術市場に価値、透明性、及び効率性をもたらすと考えています。完全なプラットフォームにいくつかの既存及び新しい革新的なソリューションを集約することで、ユーザーがこの急速に進化するエコシステム内で効率的に作業することができるようになります。このように、Arteiaはコレクターとアーティストの関係を美術市場の核心としています。

目次

概要	1
美術市場	3
市場不完全性	5
透明性の欠如	5
偽造	5
流動性	5
信頼/摩擦	6
当社のソリューション	6
なぜブロックチェーンなのか？	7
許可型ブロックチェーン	8
Arteia Collect: コレクション管理	8
プロパナンス・来歴	9
Cahiers d'Art DigitalとのRAISONLINE	10
アーティスト向けサービス	11
マッチング	11
オンライン展示	12
レンディング	12
エコシステム	13
顧客確認	14
ユースケース	14
1. 会費	14
2. 来歴	14
2.1. 来歴詳細の追加	14
2.2. コンサルティング来歴	14
3. マッチング	15
4. レンディング	15
5. ショーケース	16
5.1. 公開のショーケース	16
5.2. 非公開のショーケース	17
市場に適合	17
トークンセールの詳細	17
販売条件	18
メインセール	18
トークンの割当	18
収益の分配	19
ロードマップ	20
チームとアドバイザー	21
創業者	21
チーム	23
アドバイザー	23
参考文献	25
Legal Disclaimer	26
ATRK Token Sale - Terms and Conditions	29

美術市場

「世界のオンライン美術品および骨董品市場は、2017年には前年同期比10%増の54億ドルの最高水準に達し、全世界の売上高の8%を占めました」(Art Basel & UBS)

美術品の取引は美術市場の最も重要な要素の一つです。2017年の売上は3900万件で、2016年から12%増の637億ドルでした。その合計額の内、83%が米国、中国、英国の3つの市場のみで販売されました。

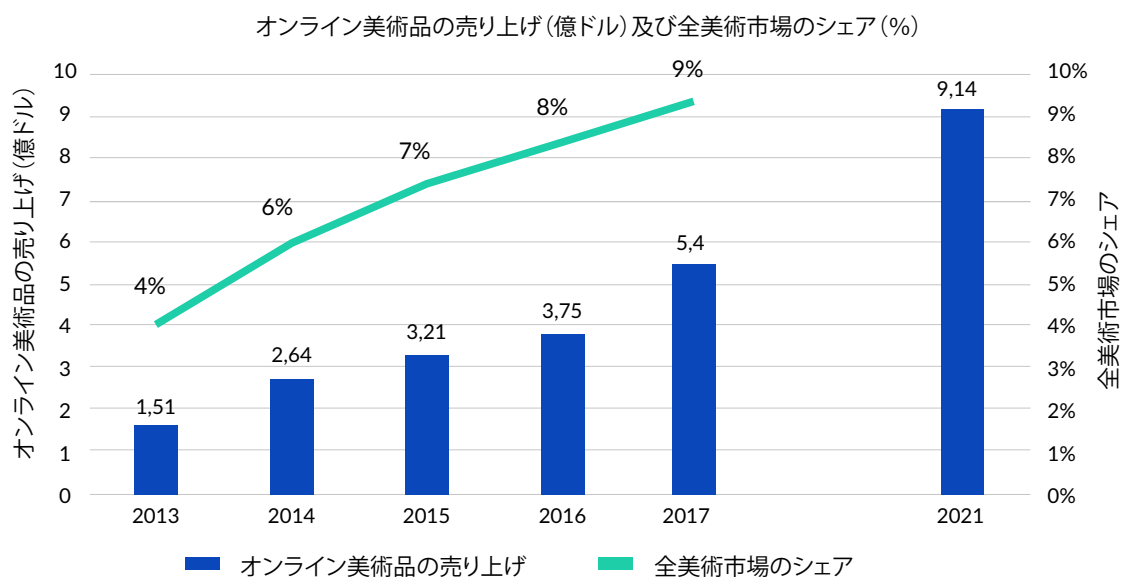
オンラインでの美術品及び骨董品市場は、業界で最も急成長している業界の分野の一つであり、2017年には前年同期比10%増の54億ドルの最高水準に達し、全世界の売上高の8%を占めました。この成長は美術市場のすべての関係者によって推し進められています。販売元の64%がオンラインで販売していますが、16%はすぐには買われず、興味深いことに、2016年に業者がオンラインで販売したうちの56%は、そのギャラリーに行かなかった、または直接会ったことのない新しい顧客が買手となりました。同様に、第二オークション企業でオンラインで購入した顧客の41%が新規購入者であり、トップクラスの企業でも、平均40%を超えました。

「過去10年間で、アート業界は成長率が212%になったことがあり、急速に評価される資産の部門になりつつあります」(フォーブス)

伝統のあるオークション企業もオンラインセールスに変化する傾向があります。2016年には、その中でも最大のオークション企業、すなわちサザビーズ（19%）、クリスティーズ（34%）、オークションハウス（1.3%）が、オンラインセールスを伸ばしました。これら3社のその年のオンライン売上高を合わせると、約7億ドルになりました。この増加の一因は、オンライン入札が可能になったことによるものですが、オンラインのみのオークションの急成長によるものでもあります。たとえば、クリスティーズは2016年にこのようなオークションを84%増加させました。

オンライン購入未経験のバイヤーは、オンラインでの購入についてまだ確信がないため、オンライン化率は変わりません。が、オンラインで購入したことのあるバイヤーは購入量を増やしています。それにもかかわらず、オンラインセールスは5,000ドル以下の価格が優位を占めています。オンラインで購入した事のないバイヤーが躊躇う理由は、物理的検査の欠如や作品の状態、信頼性、売り手の評判についての心配になります。

美術取引は主にオークション企業、美術商、及びギャラリーによって行われていますが、アーティストからの直接販売は依然としてわずかです。美術商やギャラリーは美術品取引の基盤を形成していますが、販売元が小さいため取引は報告されないこともあります。市場のより高価な価格帯では、収益性の高い個人美術商は「美術施設」として活動しています。美術市場の最も重要な関係者は、オークション企業も含めると、クリスティーズやサザビーズなどです。



世界には約60万人の中級から上級レベルのコレクターがいて、その内半分は美術品を500個以上を所有していると推定されています。さらに、直接購入をする美術収集家は、年間3〜4個を購入する4000万以上の世帯の代表格です。米国だけでも、過去2年間で富裕層の35%が美術品および収集品市場で活躍していましたが、そのうちのおよそ110万人が美術品や骨董品を購入しました。

コレクションが大きくなったり、収集家が別の用事で忙しい場合、コレクションの管理者として第三者を必要とすることがしばしばあります。第三者による管理は、通常、ファミリーオフィス、資産管理マネージャー、または民間銀行によって行われます。しかし、ファミリーオフィスの61%と民間銀行の13%だけが、顧客が自分のコレクションの最新状況を把握していると認識しています。これは、多くの収集家が、自分自身が所有しているものを完全には把握しておらず、自分の美術品についての重要な情報を欠いていることを示しています。そのため、ほとんどのアートコレクターが美術関連の問題に関してさらなる支援を求めています。この支援は通常、美術市場のメインとなる貿易と結びついていません。

「一部の利用者はオンライン売買の利便性に強く抵抗しているようだ。」
(ニューヨークタイムズ)

市場不完全性

美術市場は何世紀にもわたって進化をほとんどみせていない、非常に保守的なものとなっています。新規収集家または投資家にとって、いくつかの側面が問題になっています。それは主に、透明性の欠如、偽造、流動性、そして信頼できる環境の必要性の4つになります。

透明性の欠如

市場のデータの大部分を所有できる関係者の数は限られています。このことは、公のオークションを通してのみ利用可能となっている価格情報に関して、特に当てはまります。価格設定メカニズムはほとんど不透明であり、外部の観点から理解するのは困難です。同様に、新進アーティストを見つけることができるのは、市場でも少数の精通した人物にしばしば限られています。画商に与えられた独占権、及び自らの担当するアーティストの希少性と誇大宣伝を作成する彼らの努力は、価格設定メカニズムの背景となる理論的根拠に基づかないという、美術市場内の大きな問題につながります。

偽造

美術品の価値は、その独自性と信頼性、または慎重に管理されたエディションにあります。美術品の価格が上がると、偽造はますます儲けになります。偽造された美術品は近年大きな問題となり、専門家は国際市場の美術作品の半分ほどが偽物であるかもしれないと語っています。疑いを持たない収集家は、偽造品に膨大な金額を支払うことになります。

美術品の信頼性を検証することは非常に難しく100%的確な事はめったにありません。この部門は、その作品がどの芸術家の作か特定することを支援できる知識を持つ専門家、またはその作品が特定の期間に作られたかどうかを検証するための法医学的分析に頼っています。残念ながら、これらの方法にはいくつかの制限と誤差があります。最も安全な方法は、美術品を制作したアーティストからの信憑性のある証明書 (certificate of authenticity・CoA) を取得することです。しかし、多くの美術品は、特に故人の美術品には、CoAがないか、または偽のCoAがある可能性もあります。

流動性

他のほとんどの伝統的な金融商品と比較した場合、相対的に短期間取引をしにくい事を考慮することは、美術品に資本を割り当てる投資家にとって当然のことです。美術品の販売は、使用される方法にかかわらず、即時のプロセスではないため、美術品は非流動的「短期的取引がしにくい」資産です。ディーラー、オークションハウス、ギャラリーは通常、取引を完了するために複雑なプロセスを受けます。購入と再販の手数料が高すぎるため、投資家は初期投資を回収するためだけのため、転売する前に数年間待つ必要があります。さらに、美術品が流通市場にあまりにも早く再販売されるとき、利益目的の販売として認識されるため、高く評価されることはめったにありません (美術品の「転売」はコレクターの評判を傷つける危険を冒し、将来、価値のある美術品が購入できない可能性があります)。

短期的取引がしにくいことに関連した別の問題は、支払いの遅延及びキャンセルの割合が高いことです。これは市場の特定の部門や分野で重要な問題であり、リスクを吸収できない中小企業には現金流入の問題につながります。流通市場では、それはまた、通常チェーンの最後に支払いを得るア

アーティストにも大きな影響を与えます。この問題は、オークションでの未払い率が2017年6月までに49%に達した中国市場で特に顕著です。

アート調査の売上高によると、25人のアーティストの作品が世界中のオークション売上高の約50%を占めています。これは市場の非効率性を大いに示しています。

信頼/摩擦

関係者間の情報の不一致がおりうるため、信頼は美術市場で重要な役割を果たします。買手は、売手が公正な価格で本物の美術品を提供していることを信頼する必要があります。また一方、売手は、売った作品のお金を受け取れると確信しています。取引は通常、事前に連絡がない、つまり相互に信頼関係のない個人間で行われるため、交渉に第三者を必要とします。個人は互いに信頼する必要はなく、ほとんどの場合、オークションハウス、ディーラー、またはギャラリーと言う第三者を信頼すれば十分です。これらの仲介者は、アーティストの宣伝、評価、専門知識、取引処理、認証、メディア報道など、多くの役割を果たします。残念なことに、いくつかの訴訟が証明しているように、これらの信頼できるとされる仲介者が顧客と公正に取引できなかったことが何度も起こりました。it has occurred 美

「多くの最高の美術品は、アーティストにも、それを推進する人々にも、決して金銭的利益を生み出すことはありません。それは企業が大部分の利益を得ているからです」(フォーブス)

術市場で非常に注目されているもう一つのサービスは、匿名性を保証することです。各美術品の価格は大幅に異なる可能性があり、やや一方的に設定されています。買手の個人情報を知ることが、売手側は美術品の価値だけでなく、買手に関する情報に基づいて価格を設定することができます。価格のつり上げを避けるため、または単に誰が美術品を売買したのか他人に知られなくするために、美術市場の関係者は信頼できる仲介者を利用して得られる匿名性を必要とすることがあります。信頼できる環境の構築と仲介者によって提供される追加のサービスを利用するには、取引に多額の追加費用が必要となります。その費用は販売価格の最大50%に達する可能性があります。

当社のソリューション

2018年10月、Arteiaはコレクター向けのSaaSソリューションを発表し、作品や収集品を管理するためのカタログ作成アプリケーションを提供しました。このソリューションはアーティスト、コレクター、及び企業に使用され、すでに3万点以上の作品が登録されています。アートエコシステム内の関係者がより効率的に対話し、あちこちに分散したサービスにアクセスできるようにする分散プラットフォームの基盤となります。

- ・ アーティストとコレクターは、主に作品を管理するためにArteia Collectソリューションを使用します。
- ・ ディーラー、ギャラリー、オークションハウス、アートエキスパート、アートファンデーション、美術館だけでなく、荷送業者、倉庫会社、保険業者、民間銀行家、ファミリーオフィス及び他の専

専門家も、他のユーザと対話し、サービスを提供するプラットフォームにアクセスできます。

ブロックチェーン技術は美術市場に関するいくつかの課題を解決することができます。2つの最大の課題は、履歴の非効率的な取り扱いと、支払い処理における非決定論的な遅れです。

Arteiaは、ブロックチェーン技術を活用して美術品の市場に出るからの過程を不変的に共有できるレジストリを作成する、美術品の来歴トラッカー（追跡システム）を開発する予定です。最先端かつ最新の暗号化技術によって保護されたこのデジタル台帳は、美術品の信頼性を主張し、作品の価値を確立するのに役立つツールとして機能します。信用できるデジタルアイデンティティを使用して、美術品を取引することは、プラットフォームに対する高い信頼ももたらします。さらに、これはアーティストが作成したすべての美術品をリストにする不変のデジタルの作品総目録「カタログ・レゾネ」の作成を可能になります。

この来歴トラッカーは、スマートコントラクトを使用して実行される二つの追加サービス、マッチングおよび貸付によって強化されています。マッチングでは、二人の匿名ユーザーが、事前に登録した希望取引内容にそって連絡を取り合います。これにより、イーテルやビットコインなどの一般的な暗号通貨を使用して、コレクター間でピアツーピアの取引が可能になります。取引が発生すると、自動的に来歴トラッカーが更新されます。展覧会や他のイベントのために美術品を貸すために使われても、同じように自動的に来歴を更新します。

これまで、常に成功した取引を保証する者としての役割を持つ仲介者を通して、信頼関係は成立してきました。しかしながら、これらの物理的な仲介者の中には、decentralized verification（ブロックチェーン内システム）のために信頼できるプロトコルに変えることができますこともあります。ブロックチェーンに配置されたスマートコントラクト（契約をスマートに行えるプロトコル）は、一連の条件が満たされた場合のみ、取引を有効にすることによって、その役割を果たします。これらの契約システムは、宣言的ロジックに基づいて、2人または複数の当事者間の合意として機能します。それゆえ、信頼は価値の交換のために本質的に安全な環境を作り出す暗号のコンセンサス主導のプロトコルに委任されます。この取引環境は、悪意ある者を失望させうる評価システムを実装することによって、さらに強化されます。

来歴トラッカーとマッチング及びレンディングを組み合わせることで、アートエコシステム全体に大きなメリットがもたらされます。スマートコントラクトを活用することで、同業者間の取引が促進され、関係者のプライバシー保護が強化され、アーティストが再販時に発生した利益を得られるようになり、市場全体の商品取引がスピードアップします。

なぜブロックチェーンなのか？

ブロックチェーンは、一つの分散ネットワーク内で互いに接続されたデータノードで構成されています。分散化されているネットワークなので、集中化された順序の影響下ではなく、ノードが目標を達成するために同じ共有状態で動作します。ノードが通信し、メッセージを渡すことで動作を調整し、それも配置されます。その分散型および配置型の性質のために、有感点を欠いており、卓越したセキュリティとデータの完全性を提供しています。

この技術は美術市場に革命を起こす可能性があります。以前は、取引に関与する当事者は、取引された美術品が本物であることを確認するため、互いに信頼し合う必要がありました。取引はしばしば第三者によってすすめられました。ただし、美術品のアイデンティティがブロックチェーンに作成されると、当事者間の信頼はブロックチェーン上にある履歴が偽造されない事に対する信頼に置き換えられるため、不要になります。

Arteiaの幅広い分散型サービスは、システムで使用されている美術品の所有権を追跡することによって、信頼できる環境をユーザーに提供することに由来しています。システム内の美術品の履歴を追

跡できるということは、交渉中の作品の実在と価値への信頼をユーザーに与えます。プラットフォームのユーザー間のそれぞれの対話はARTKトークンによって可能になり、それが弊社ソリューションの不可欠な部分となっています。

当初、Arteiaはイーサリアムブロックチェーンのプロトタイプとして、一連の分散サービスをリリースすることを目指していました。このプロジェクトの最終目標は、確立されたアート業界のリーダーをメンバーとして、許可型ブロックチェーンネットワークを提供することです。これにより、履歴品質が向上し、美術市場向けの独自で信頼性の高いエコシステムが生まれます。

許可型ブロックチェーン

さらに言えば、Arteiaの戦略は、分散プラットフォームの基盤として、許可型ブロックチェーンに移行することです。来歴や他の取引のために安全な作業環境を提供するために、私達は権限の証明コンセンサス・メカニズムを選ぶことを検討します。それから Arteiaは、このプロジェクトに参加し、フィンアートエコシステム（保険会社、監査会社、アートファンデーション、専門家など）に透明性をもたらすことを望んでいるアートエコシステムパートナーとノードのネットワークを構築します。アートエコシステムパートナーは、それらオープンソリューションから利益を得ることができます。ブロックチェーンに格納されているデータの一部は、プラットフォームのユーザーの匿名性を保証するために暗号化する必要があります。ユーザーは、SaaSプラットフォームを使用するための基本的なKYC (Know Your Customer・本人確認手続き)、及び金銭または所有権の移転を伴う取引を行うことができるようにする前に、完全なKYCに申し込む必要があります。ユーザー間のプラットフォーム上の相互作用として、他の当事者に対するさらなる自信と信頼を確保するために評価システムが役に立っています。それと同時に、Arteiaは電子署名を美術品につなげる手段に取り組んでいます。

Arteia Collect: コレクション管理

Arteia Collectは、ネットアプリケーションとして利用可能なコレクション管理のため、すでに機能しているプラットフォームであり、モバイルアプリケーションによってサポートされ、ユーザーに完全な汎用性を提供します。アプリケーションは手頃な価格で、ハイエンドの競争者によって提示されたさまざまな機能を提供する、コレクション管理のための最先端のツールです。アプリケーションは手頃な価格で、ハイエンドの競争者によって提示されたさまざまな機能を提供する、コレクション管理のための最先端のツールです。このアプリケーションは、その高度にカスタマイズ可能なインターフェースのおかげで、大規模なコレクションだけでなく、アーティスト、美術館、ギャラリー、そして新しく始めたコレクターにも向けられています。これにより、アート界のすべての関係者のニーズに合わせた一つのアプリケーションが完成しました。

Arteia Collectは、収集品の管理に関連するいくつかの機能を組み合わせたものです。

- ・ まず、在庫管理インターフェースにより、ユーザーは自分のコレクションの状態を明確かつ正確に調べることができます。ユーザーは自分の作品に関連する情報を管理するため、説明、寸法、位置、文学、写真など、さまざまな登録項目を選択できます。さまざまな情報フィールドとそれらのカスタマイズの可能性により、プラットフォームは幅広いユーザーのニーズに適合することができます。
- ・ 高度に開発されたイベント管理ツールは、ユーザーが獲得、展覧会、ローン、保全、評価、保険など、所有する美術品のすべてを記録することを可能にします。
- ・ ユーザーは、コレクションのその時々価値、アーティストごとの投資額、販売収入、期限切れの保険など、コレクションの完全なファイナンシャルダッシュボードにアクセスできます。

- ・ ユーザーは、友人、クライアント、同僚、または一般の人々と自分の情熱を共有できます。アプリケーションのおかげで、所有する美術品を展示するためにオンラインの観覧室をつくるのが可能になります。最高レベルのセキュリティを確保するために、公開サイト、もしくはパスワードで暗号化されたサイトのいずれかを選択します。
- ・ ロケーションレポート、インベントリシート、ストックシート、カタログなどのさまざまなレポートを作成、編集、印刷できます。
- ・ プラットフォームは、適応性を持ち、PC、タブレットまたはスマートフォンからアクセス可能です。

2018年10月に公に発表されたArteia Collectは、すでにいくつかの有名なコレクターとアート業界から注目を集めています。ヨーロッパ最大のアートコレクターや財団の多くが、美術品保険部門の代表者とともに、このプラットフォームを使用しています。既に機能しているアプリケーションは、ブロックチェーンテクノロジーを使用した追加サービスの基盤として作動しています。

プロブナンス・来歴

美術市場では、「来歴」とは美術品の所有の歴史的記録を定義するために使用される用語です。美術市場の販売または譲渡を支配する経済的及び市場的条件だけでなく、趣味の変化及び目的の収集の記録も表しています。最も重要なのは、美術品の生涯に影響を与えた出来事についての情報を提供することによって、現在価値の確立に役立てる点です。完全で信頼できる出所記録は、美術品のライフサイクルについてのより良い洞察を得ることによって、信憑性を証明するために使用することができます。

来歴は美術市場における大きな問題です。ほとんどの美術品には明確な所有権の記録がないため、



その美術品が改ざんされていないかどうかを確認するのは困難です。私たちは美術品についての信頼できる、感度の高い情報を提供するための最良のツールを提供できると信じています。

目的は、美術品の包括的な出所データベースを作成することです。ブロックチェーンは美術品の来歴に関連する、所有権の変更、展覧会への参加、作品について言及している文献など、すべての重要な出来事の記録を保持できます。このデータは価値に大きな影響を与えますが、しばしば分散しているか、欠落しているか、または入手が困難です。

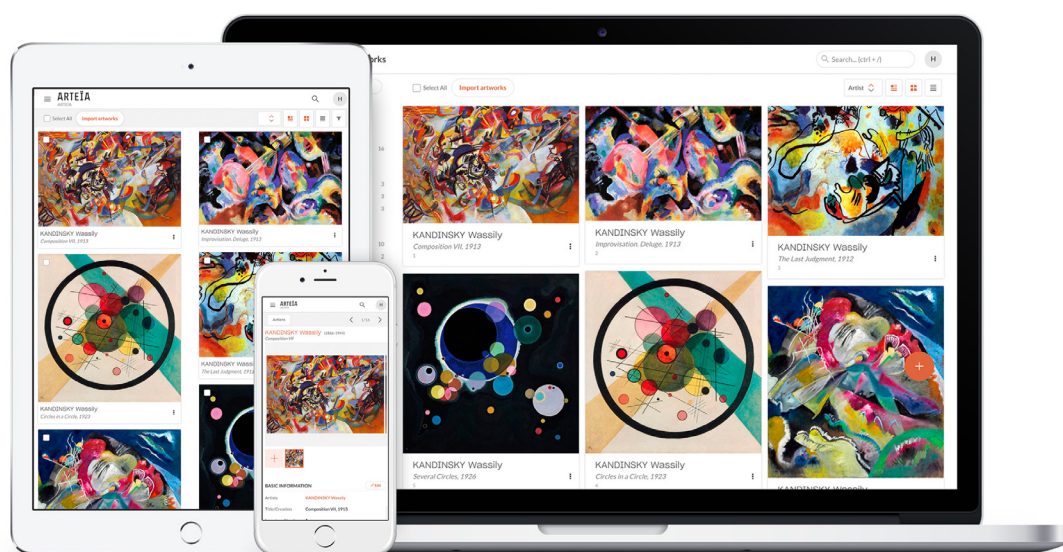
信頼性の高い出所データベースを作成するために、Arteiaは最も信頼できる情報源、すなわちアーティスト自身に焦点を当てています。私たちは、それぞれのアーティストにブロックチェーン上に自分のカタログ・レゾネを作成してもらい、彼らが作品の所有権と信憑性を証明するためだけでなく、自らの作品の全体性を再編成する機会を与えます。これは生きている芸術家だけでなく、遺産が様々な財団や財産家によって受け継がれている故人にも当てはまりますこれらの財団は芸術家の作品の信憑性の証明を担っています。

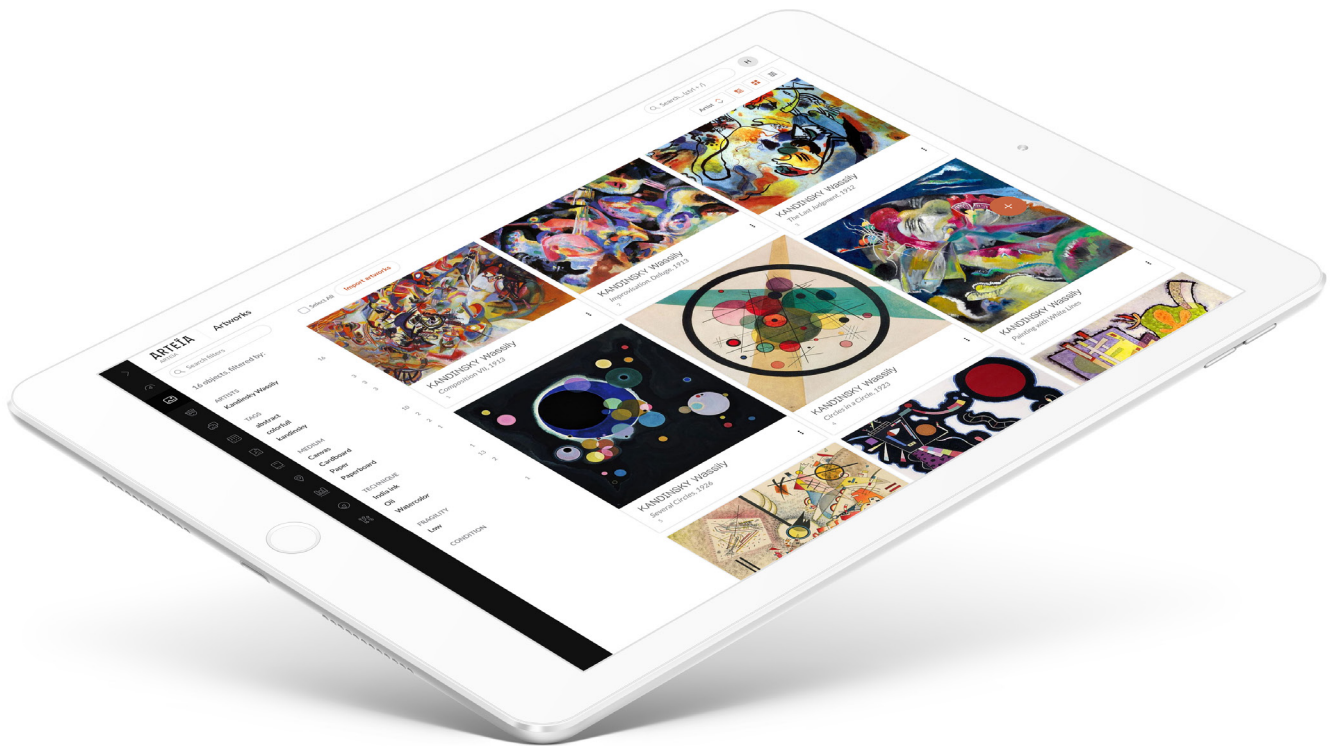
すべてのユーザーが来歴情報を追加提供できますが、選択されたバリデータ（入力チェックシステム）によって検証され、偽造の投稿を隠し、ユーザーに投稿させなくすることができます。美術品が元帳に記録されると、その所有権のその後の変更は追跡可能になり、継続的で変更不可能な来歴が記録・提供されます。

関係者の身元を保護するために、所有権の変更はデフォルトでは匿名ですが、ユーザーは来歴品質を向上させるために身元を明らかにすることを選択できます。匿名でデータを入力できるということは慎重な収集者を引き付け、記録するための動機づけとなります。

Cahiers d'Art DigitalとのRAISONLINE

2018年10月にArteiaは、パブロ・ピカソ、エルズワース・ケリー、そしてすぐにフランク・ゲーリーのカタログ・レゾネで有名な出版社Cahiers d'Artと提携し、ブロックチェーンに埋め込まれたデジタル版カタログ・レゾネを作成するための新しい標準を構築しました。アデル・アブデスメッドのように多くの有名なアーティストは、既にRAISONLINEを使って自分の作品目録を作成することに興味を示しています。





このタイプでは、市場で利用可能な最初のソリューションであり、それはArteiaの技術的な優位性と、提携したCahiers d'Artの優れたコンテンツと美術の専門知識から利益を得られます。Cahiers d'Artの品質、名声、及び信望は、著名な芸術家や機関の目を惹いて、この新しい基準に従わせます。

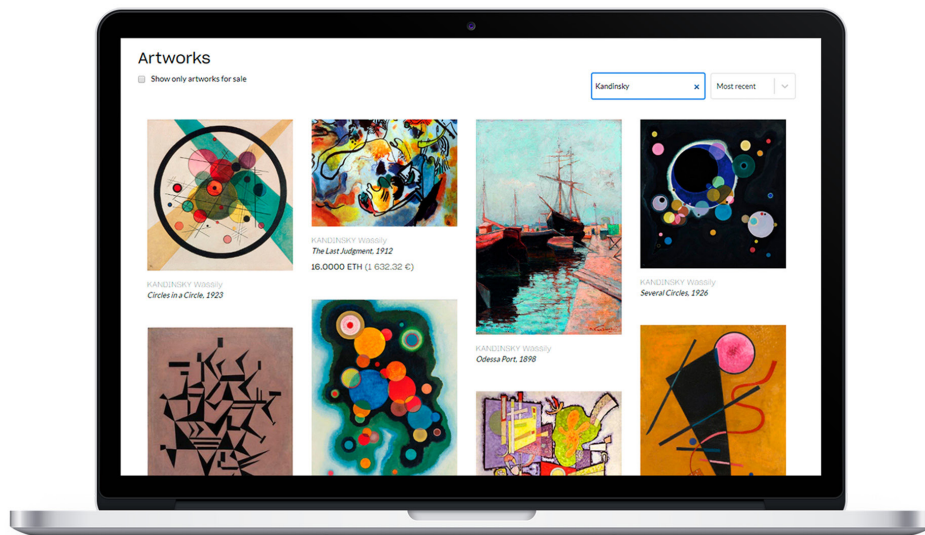
アーティスト向けサービス

Arteiaはコレクターだけでなく、アーティストにとっても好ましいプラットフォームになることを目指し、作品を手助けするための重要なツールを提供しています。Arteiaが現在取り組んでいる第一段階は、Arteia Collectをベースにした、アーティスト向けの特別カタログ作成ソリューションを提供することです。それは、彼らの芸術活動の計画や管理面においてアーティストを支援します。そののち、各アーティストがそれぞれのArteiaカタログ・レゾネを作成するためのツールを提供して、誰の作品が特定できるようにすべての認定美術品の記録を保管します。

マッチング

美術品の非流動性は、美術品を収益化するために存在する多くの困難から来ています。複数の仲介者や手数料が存在するため、美術品を迅速に販売することはほぼ不可能です。仲介人は美術品を評価し、売り込み、そして可能な買手を見つけるため必要な専門知識に正当な料金を付けます。しかしながら、予想される買手と売手が直接かつ匿名で会うことができるマッチングシステムでは、このプロセスを大幅に最適化できます。これにより、コレクターやアーティストは自分の作品をより適切に管理しながら、物理的な仲介者に関連する料金を削減できます。仲介者が少なくなり、オンラインでの宣伝が容易になるため、美術市場の流動性が大幅に向上します。このマッチングプラットフォームは、コレクターにとって有益だけでなく、アーティストの認知度を高め、彼らが自分たちの美術品を宣伝するのにも役立ちます。

美術品は来歴トラッカーに登録されることにより、プラットフォームによってユーザーにもたらされる最大の付加価値、つまりシステム内で表示されている美術品の来歴にアクセスすることを可能にします。来歴とマッチングシステムを組み合わせることで、ユーザーは表示された美術品の価値をより正確に評価することができます。



Arteiaは、美術品の購入見込み者と販売者が互いに巡り合える安全な環境を作り出すことを目的としています。安全で信頼できる環境を提供するスマートコントラクトにより、両者は取引の詳細について匿名で同意することができます。ARTKトークンは、プラットフォームで利用可能なマッチング機能へのアクセスを容易にするために必要になります。

マッチングのおかげで、美術収集家は、過剰な料金と長い販売プロセスを受けることなく、自分の所有する美術品に興味がある人々を簡単に見つけることが可能になります。この分散型サービスは、即座に各コレクターのリソースを活用して、美術市場にさまざまな新しい作品をもたらします。

オンライン展示

展示、またはオンライン展示会は、プラットフォームによって提供されるもう一つのサービスです。ユーザーは、所有する美術品の一部を個人の、または一般の人々に公開するオンライン展示室を作成できます。このツールを使用して、どのコレクターもキュレーターになり、他の人と自分の、好きなものに対する気持ちを共有することができます。

この機能は、所有しているものを共有したいユーザーのためだけに役立つものではありません。アーティストは、美術に真に興味を持っているユーザーに、自らの作品を宣伝することができるようになるので、恩恵を受けます。その結果、アーティストに高い評価をもたらして、美術品に価値を加えて、新しい才能が発見されるかもしれません。ほとんどの展示会は期間限定になります。ただし、一部のユーザーは、コレクションの状態に合わせて常設展示を維持しても構わないと思っている場合があります。これは、ギャラリー、美術財団、または美術館にも当てはまります。従って、この使用はアートエコシステムのすべての関係者に利益をもたらします。

Arteia公開展示会: <https://albums.arteia.com>

レンディング

美術品の来歴記録は、コレクターが自分の美術品を展覧会に貸すことができる「レンディングユースケース」の基礎でもあります。これは世界中で美術館のキュレーターに大きな機会を提供します。それは、今まで公の場に展示されなかった作品で、全く新しい展覧会を作成することを可能にするからです。

イベントまたは展示会の主催者は、イベントに関する詳細とともにプラットフォーム上で「作品の募集」を発行します。個人所有の作品の貸し借りに興味があるコレクターは、主催者と連絡を取り合い、作品を展示することができます。オリジナルの展覧会を組織する主催者のためには、直接コレクターに連絡して、イベントのために提出される美術品がブロックチェーンで確かめられる、簡単なツールとしてオファーされます。

主催者は展示される新しく、信憑性のある美術品の膨大なデータベースへのアクセスを持ち、他の関係者も重要なメリットを受けることができます。アーティストは広く知られるようになり、コレクターは自分の仮名性を保護し、美術館に展示することで美術品の価値を高め、一般の人々はこれまでに展示されたことのない芸術作品を楽しむことができます。

エコシステム

Arteiaのエコシステムは、新しく美術市場に参加するアダプターそれぞれに信頼性と信頼性をもたらします。だからこそ、私たちのソリューションの利用促進のために、いくつかの特別なポイントを設定しています。

Cahiers d'Artとの提携により、Arteiaはデジタルカタログ・レゾネという新たなニッチ市場の最前線に立っています。美術業界における多くのつながりと共に、Cahiers d'Artの質の高いコンテンツは、芸術家と彼らの支援者を惹きつけ、この新しい基準に従わせます。それは、芸術家が自分の美術品の来歴が読まれるたびに報酬を得る、という可能性によってさらに強化され、新たな収入源を提供することになります。

その一方で、マッチングとレンディングのプラットフォームは、さまざまな関係者のニーズに応えます。美術品を含む取引に興味がある人を集め、展示会に自分の作品を貸し出すことで報酬を得るため、コレクターのためのエコシステムを提供しています。

自分の作品の将来的な売り上げの一部を受け取ることができる芸術家は、このプラットフォームのメリットを受ける重要な関係者です。例えば、Arteiaで自分の作品を追跡する芸術家は、将来の売り上げすべてに対して料金を請求することができます（ドロワ・ド・スイート、転売されるごとに作品の売価の一部を得ることができる権利、追及権）。作品を収益化するための安全なプラットフォームなので、偽造によるリスクを減らすことも可能にします。

これらの面は、展示会のサポートによってさらに強化されています。それらは、プラットフォームへさ



らに多くの人々を引き付け、インタラクション及びエコシステムに登録された美術品の価値を高めます。

顧客確認

Arteiaのエコシステムでのインタラクション(交流システム)に参加したいユーザーは、参加レベルに応じてさまざまなKYC/AMLチェックを行う必要があります。これにより、詐欺や不正使用を罰することができ、取引を行う際に当事者間の信頼が高まります。

購読、来歴の閲覧、展示会の公開、または展示会の報酬の受け取りなど、単純なブロックチェーンのやりとりの場合、ユーザーはウォレットアドレスの確認を受け、署名済みの取引を送信のみ必要となります。

より高度なサービス(来歴変更、マッチングおよびレンディング)を使用したい場合、詐欺行為に対する追加のセキュリティを提供するために、KYC/AMLの追加ステップが必要になります。展覧会の主催者のためには、本当に文化的な組織を代表していることを証明するため、異なる手順がもたらされます。

ユースケース

1. 会費

Arteia Collectは、会費を資金としたSaaSアートコレクション管理システムです。ユーザーは、プラットフォームへの参加、ポートフォリオの構築、及びアートコレクションの管理のために、月額または年額の会費を支払います。このサービスは、毎月または毎年ARTKトークンで支払いができます(有効なウォレットと電子メールアドレスが必要です)。ブロックチェーン機能を使用したくないユーザーのために、不換紙幣で支払うオプションもあります。

2. 来歴

2.1. 来歴詳細の追加

このソリューションは、ユーザーによる美術品来歴の詳細追加をサポートします。これには、偽造された情報が入力される可能性を軽減するため、追加のチェックが必要です。これらのチェックは、ポストモデレーションとして選択されたバリデータによって行われ、スマートコントラクトを通じて独立して管理されます。このプロセスは次のようになります。

1. コレクターが新しい登録情報を来歴トラッカーに送信します。
2. 登録情報はスマートコントラクトレベルで検証及び調整されます。
3. データに誤りのフラグが立った場合、それはレジストリから除外されます。

2.2. コンサルティング来歴

来歴データベースに掲載されている作品の基本情報を、誰でも確認できます。ただし、所有権の変更、展覧会の履歴、またはエントリー作成者が価値があると判断したその他の情報など、より詳細な情報にアクセスするには、そのデータの閲覧要求を送信する必要があります。相談費用は

ARTKトークンで支払いされています。将来的な開発は料金の一部が来歴の入力者宛に支払えるようにするので、報酬計画を提供するかもしれません。

3. マッチング

Arteiaは、美術品の購入見込み者と販売者が巡り合える安全な環境を作り出す、第一プラットフォームとなることを目的としています。これにより、両者は、ARTKトークンを使用したスマートコントラクトによって提供される、安全で信頼できる環境での取引の詳細について合意することができます。取引はArteiaの外部で、当事者間で直接行われます。

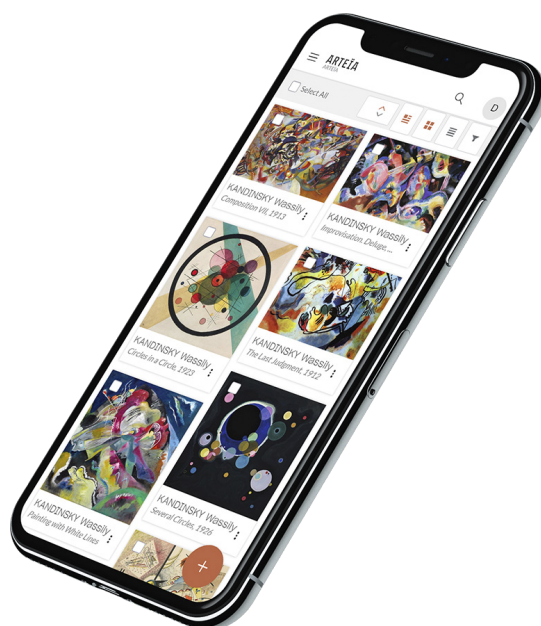
マッチングのおかげで、アートコレクターは、過剰な料金と長い販売プロセスを受けることなく、所有する作品に興味がある人々を簡単に見つけることが可能になります。ピアツーピアマッチングは、各コレクターのリソースを活用して、美術市場にさまざまな新しい作品をもたらすこともできます。

マッチングプラットフォームは、そこに登録されている美術品のための来歴トラッカーから情報を提供します。それは、システム上で閲覧している美術品の信憑性と価値について、ユーザーにさらなる信用を提供します。美術品の来歴証明のため、所有権の変更が行われると、来歴データベースは自動的に更新されます（過去データがない場合は新しいエントリーが作成されます）。

リスティングを公開するには、美術品の所有者は高度なKYCチェックを受ける必要があります。これらが完了すると、マッチングプロセスは次のようになります。

1. 美術品の所有者は、作品をマッチングプラットフォームに置くスマートコントラクトを起動するため、固定トークン料金をデポジットとして支払います。オファーがキャンセルされた場合、このデポジットは返金されます。
2. 美術品の所有者は、一覧表を作成するときに、取引の詳細と明細について決定します。
3. 興味を持った人は、ARTKでマッチング料金を支払うことで、一覧表作成者とマッチングできます。
4. 両者がこれに同意すると、来歴データベースは所有権の変更が更新されます。

4. レンディング



「美術館やギャラリーに所有する美術品を貸すことには多くの利点があります。自分の情熱と美術品のコレクションをコミュニティと共有し、美術業界からあなたへのコンタクトを増やし、さらに税制優遇措置の対象になることもあります。美術品を飾る壁に余裕がなくなった場合でも、美術品を安全に保ち、世話をするための素晴らしい方法です。」

民間のコレクターの中には、作品を貸しても構わないと思っている人がいますが、誰に連絡したらよいか分からない場合があります。この要求はしばしば、展示された作品が有名になり価値を獲得する、という事実から生じます。一方、美術館や展示イベント主催者は私有の美術品にアクセスするのに苦労しています。そのためArteiaが展示会の主催者と美術品を所有する人々を結び付けるシステムを提供します。

レンディングプロセスは以下のようになります。

1. 展示会の主催者は、ARTKをスマートコントラクトに支払うことによって、今後の展示会についての詳細を含む一覧表を作成できます。
2. 自分の作品を貸し出すことに興味があるユーザーは、自分の作品に関する情報をイベント主催者に匿名で送信します。
3. 主催者は美術品を選択して承認し、所有者と貸借契約の詳細を確定します。
4. 展示会が行われるとき、メインとなった美術品の所有者は主催者がデポジットしたARTKから報酬を得ます。
5. 注目された美術品は、来歴データベースの展示会に関する詳細が更新されます。

5. ショーケース

このプラットフォームのユーザーは、公開のショーケースや非公開のショーケースを作成して、自分が所有する美術品を展示できます。これで認識を得ると、美術に対する彼らの情熱を共有することが可能になります。これで認識を得ると、美術に対する彼らの情熱を共有することが可能になります。ユーザーは公開（誰でも見ることができる）及び非公開（制限付きの閲覧者のみ）のショーケースを作成することができます。

5.1. 公開のショーケース

各ユーザーから支払われ貯められたARTKトークンは、毎月、その月の最も人気のあるショーケースのクリエイターに報酬として支払われます。これは、プラットフォーム上で有意義でユーザーを引き付けるコンテンツを作成したいという気持ちに繋がり、売上の増加とより多くの人が美術品にアクセスできる「芸術の民主化」につながります。

- ・ Arteia Collectのユーザーが、自分が所有する芸術品を展示するための仮想ショーケースを作りたいとします。そのユーザーは、誰でもこの仮想ショーケースを見られるように設定しました。
- ・ これは私たちのエコシステムに付加価値を与えるので、Arteiaはこれらのユーザーにさらなる動機を与えたいと考えています。
- ・ 最も人気のあるショーケースは、それらのクリエイターが毎月蓄えられたARTKトークンから

報酬を受けます。これはプラットフォーム上でデータを共有したいという気持ちに繋がり、透明性と価値を生み出します

5.2. 非公開のショーケース

- ・ Arteia Collectのユーザーが、自分が所有するいくつかの作品を展示するための仮想ショーケースを作りたいとします。そのユーザーは、少数の選ばれた人々だけがこの仮想ショーケースにアクセスできるように設定できます。
- ・ 各ユーザーが利用可能な非公開ショーケースの数は限られており、数を増やすためには、ARTKトークンを支払う必要があります。
- ・ SaaSプラットフォームでは、ユーザーはまず自分が共有したい作品のアルバムを作成し、アクセスできるユーザーを選択してショーケースをアクティブにします。
- ・ Arteiaはこのアルバムを表示する一時的なウェブサイトを作成します。この一時的なウェブサイトは暗号で守られており、アクセスに必要なパスワードは作成ユーザーに承認された人々のみに与えられます。

市場に適合

ブロックチェーン技術は、常に違法取引、盗品、及び偽造品と戦ってきた市場が大変に必要としてきた「来歴」を提供することによって、それ自体が美術市場において大いなる適合を見出しました。ブロックチェーンは不変的な台帳を提供し、美術品の所有者やそれに関連するその他の項目を記録します。この技術は、美術業界が何世紀にもわたって直面してきたトラディショナルな問題を解決します。多くの企業が美術市場のニーズに応えることを目指していますが、不可欠なサービスをすべて一つにまとめた包括的なプラットフォームを提供する企業はありません。既存のブロックチェーンソリューションは、純粋な来歴へのアプローチ、美術品の証券化、及びブロックチェーンに対する美術品の取引に重点を置いています。Arteiaの目標は、アートエコシステム全体のための統合された包括的なプラットフォームになることです。コレクション管理サービス、ピアツーピア市場、レンディングサービス、オンラインショーケース、ピアツーピアネットワーク、及び来歴モジュールを、誰でも簡単にアクセスできるプラットフォームに再定義します。それによって、Arteiaは、アートエコシステムの関係者が必要とするすべてのサービスを再編成し、市場の多数の不備に対処し、コレクターを市場の中心に置く最初のプラットフォームになります。

トークンセールの詳細

リソースを取得し、ユーザーがブロックチェーンサービスを最大限に活用できるようにするために、Arteiaは2019年にトークンセールを行います。Arteiaは、イーサリアムプラットフォーム上にERC20トークン (ARTK) を作成し、販売期間中に提供します。

販売条件

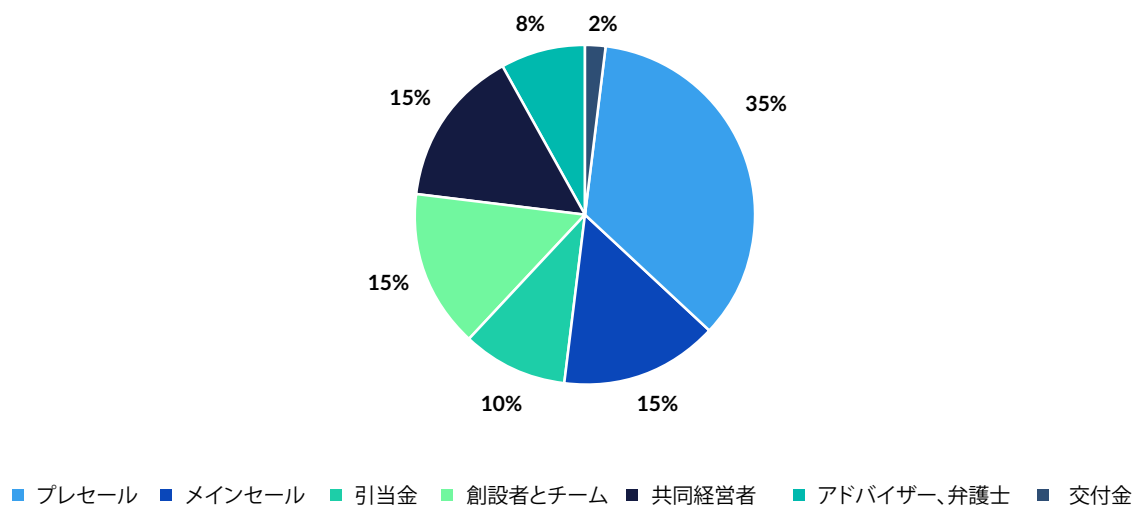
トークンの合計プールは400,000,000 (4億) ARTKに固定されています。総計で、すべての、一般的に利用可能なラウンドは、全ミントトークンの50%になります。プリセールスはトークンの35% (140,000,000 ARTK - 1億4,000万) で、メインセールはすべてのミントトークンの15%です。トークンの価格は、ビットコインとイーサリアムの変動の大きさにより、プリセールとメインセールの直前に決定されます。

最小量: 350万ドル
最大量: 1500万ドル

メインセール

メインセール中に60,000,000 (6,000万) ARTKが販売されます。メインセールは2ヶ月間続き、需要が多すぎた場合は、先着順でトークンが割り当てられます。早期購入者には割引が与えられます。

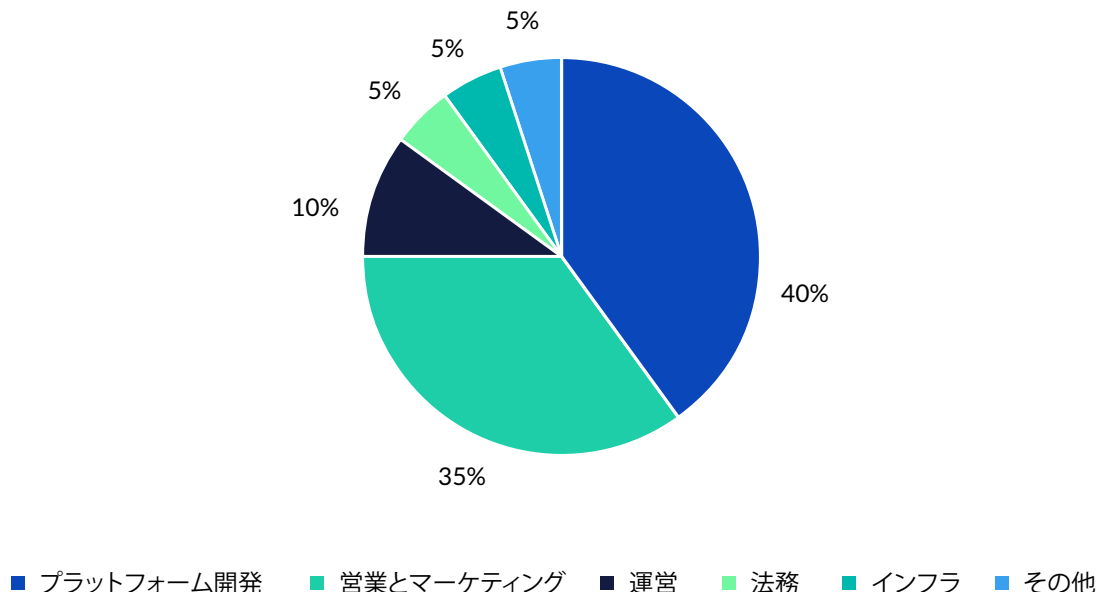
トークンの割当



合計で、50%のミントトークン（仮想通貨の一種）が一般に公開されます。残りの50%の内訳：

- ・ 10%が準備金に割り当てられ、インセンティブメカニズムに使用。
- ・ 15%が1年間の権利確定期間の間、創設者とチームに渡ります。
- ・ 15%がアドバイザーに割り当てられます。
- ・ 8%が共同経営者に割り当てられます。
- ・ 2%が交付金になります。

収益の分配



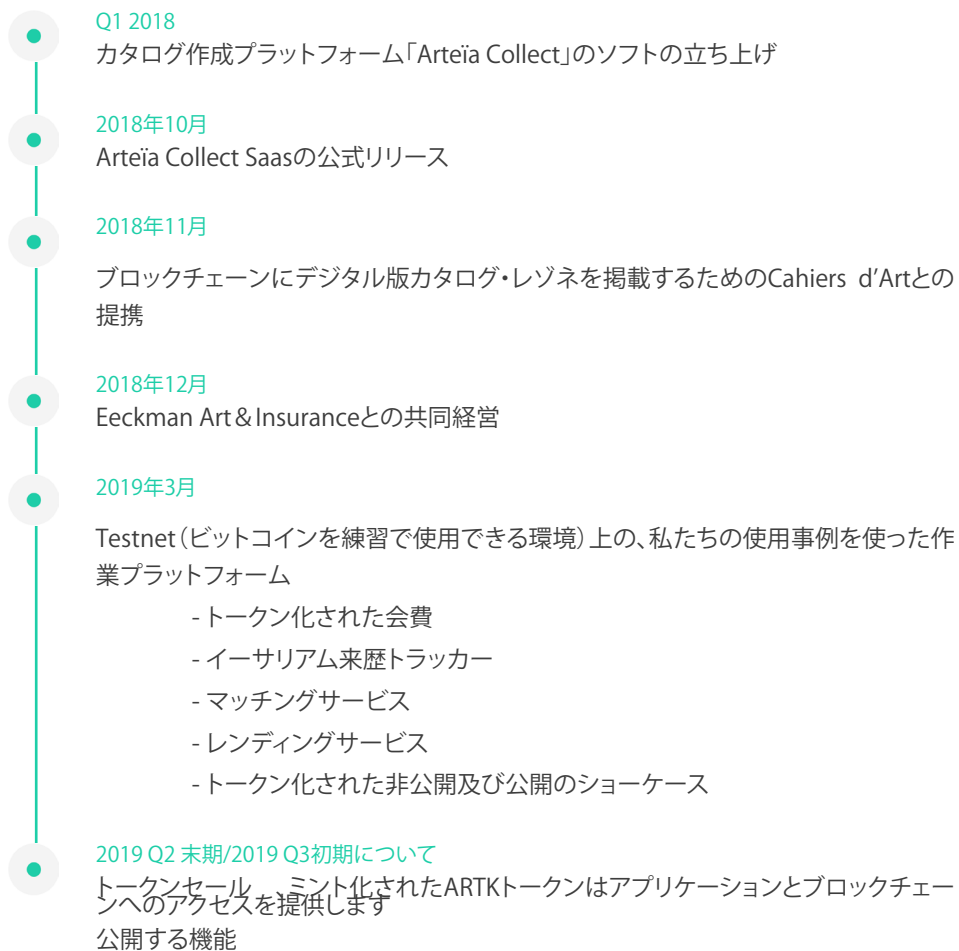
トークン販売中に調達された資金は、以下の目的で使用されます。

研究開発：

- ・ 来歴、ピアツーピアのマッチング及びレンディングのためのブロックチェーンソリューションの改善、ならびに既存のコレクション管理プラットフォームへの統合と同時にAIを導入します。
- ・ 営業とマーケティング：保守的な美術市場にブロックチェーンを導入するには、顧客教育とプラットフォームの促進という点でかなりの努力が必要です。
- ・ 運営：調達された資金の一部は、オフィススペースのレンタルや給料などの日々の運営費を賄うために使われます。
- ・ 法律：知的財産権と新しい規制（GDPRなど）を扱うには、相当な法的専門知識が必要になります。
- ・ Pパートナー：これらの資金は重要な美術市場の関係者とのパートナーシップを促進するために使われます。

ロードマップ

上記に記された各使用事例はTGE (Token Generating Event・資金調達) で利用可能になり、トークンの即時使用と需要が可能になります。



チームとアドバイザー

創業者

Arteïaは、コレクター、起業家、そして美術市場とコンピューター業界のプロフェッショナルによって作られました。

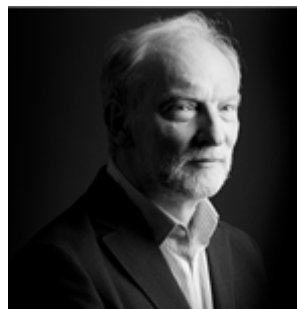


Philippe Gellman,
共同創設者、CEO

パリドフィネ大学で経営学の修士号を取得し、主にフランスの金融市場で働く。いくつかの主要銀行 (Crédit Lyonnais, Société Générale) で働いた後、1997年にパリ証券取引所に上場された最初の独立オンラインブローカーであるBourse Directを設立。

7年間会社のトップを務め、それから生命保険元受会社を設立して、ファッション及びヘルスケア産業といくつかのスタートアップ企業を含む多くの活動分野に投資している。

創設者の、会社の創設、パッケージの調達、事業計画の立案、及び専門家チームの動員の経験は、彼の現代美術に対する情熱そのものです。



Marek Zabicki,
PhD、共同創設者、CTO

Marek Zabickiは、分散システムの制御と最適化の博士号を持ち、複合情報検索システムの開発、金融派生商品のモデリング、およびアート管理プラットフォームの開発に30年以上の経験がある。

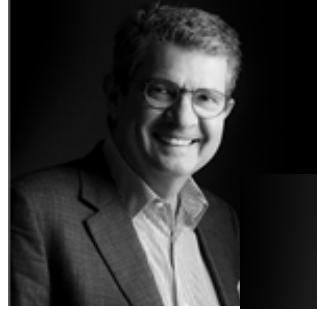
ポーランド科学アカデミーでの短期就学の後、彼は新たなビジネスモデルの開発を始め、八つのテクノロジースタートアップに参加、あるいは個人で立ち上げた。フランスで最初にCD-ROMを開発した会社CEDROMのCTOであり、金融ソフトウェアの世界的リーダーであるGL TradeのCTOも務めた。LexMediaとNeurosoftと言うMusnetやGCOLL/2アートマネジメントシステムの背後にある会社の創設者。ここ3年は、ブロックチェーン、スマートコントラクト、暗号経済学などを、様々な現実の問題に適用することに尽力している。



Olivier Marian,
共同創設者、CSO

コンピュータエンジニアの卒業証書（国際情報処理科学大学院）、コンピュータサイエンスの修士号（フロリダ工科大学）、経営学の修士号（パリ政治学院）を所持し、著名な起業家兼投資者である。Marvin Software（ロイター）やマイクロソフトで働いて、1998年にネットマーケティングのコンピュータエンジニアを修了（国際情報処理科学大学院）、コンピュータサイエンスの修士号（フロリダ工科大学）、経営学の修士号（パリ政治学院）を所持し、著名な起業家や投資者です。企業Endromisを共同設立しました。

10年ほど前から、主に技術系企業に投資している。美術収集家の家族に生まれ、既存市場で満足のいく解決策を見つけられなかったため、コレクションを管理する個人のシステムを作成した。Arteia創業時に株主として入社し、ITの専門知識やアート市場に関する知識を活かして、その開発に直接携わる。



Hugues TaittingerとReine-Marie Fontaine Taittinger,
共同創設者、取締役

現代美術コレクター、東京美術倶楽部やThaillywood Artist Residencyの創設者。加えてHugues Taittingerは、ベルギーの電気通信会社であるIP/ Nexiaの社長である。

チーム

Marianne Magnin、イギリスの専務取締役

管理職（ロイヤルダッチシェル社、PwC）で16年間の国際的な企業経験を経たのち、美術分野（起業家、コンサルタント、キュレーター）で10年間、他に類を見ないスキルを身に付ける。美術評論家、コレクター、慈善家。

Ania Bywanis、常務取締役

法律の卒業生、起業家、デジタルマーケティング担当者。Google Launchpad Mentorとして初期段階のスタートアップをサポートします。近代美術と現代美術についての情熱。

Wiktor Tendera、主任開発者

ヤギェウオ大学でコンピュータサイエンスを卒業し、暗号通貨とブロックチェーンに熱心に取り組んでおり、IT及びチーム管理に長年の経験があります。

Mateusz Kmiecik、フルスタック開発者

創業以来Arteiaプラットフォームの開発に携わっているコンピュータサイエンスの卒業生で、ウェブ開発の専門家

Patryk Konior、フルスタック開発者

創業以来Arteiaプラットフォームの開発に携わっているコンピュータサイエンスの卒業生。ブロックチェーン技術とアーキテクチャ設計の専門家。

Stanisław Tombiński、プロダクトオーナー

国際経営学、ヨーロッパ経済研究及び応用コンピュータサイエンスの大学院の卒業証書を持つ現代美術愛好家。IBMで働いて、新しいビジネスモデル立ち上げ企業にビジネスコンサルティングを提供した経験がある。

アドバイザー

Anish Mohammed, PhD、ブロックチェーンアドバイザー

技術に情熱的である学際的な背景を持つ技術者。ブロックチェーンと暗号化に関する深い専門知識を持ち、産業界と学術界の両方でセキュリティ/暗号化の研究者として働いていた。

Dr Jean-Claude Marian、投資家、芸術・開発アドバイザー

世界的な依存症治療におけるヨーロッパのリーダー、ORPEAの創設者兼前CEO。古美術から原始美術、近代美術、現代美術に至るまで興味を持つ有名な美術コレクター。

Ruth Catlow、美術市場＆ブロックチェーンアドバイザー

芸術、技術、共同作業の分野で国際的に認められた専門家。イギリスで最初のデジタルアート専門組織、Furtherfieldの共同監督。文化部門のブロックチェーン開発のリーダーで、パブリックアートプログラムやネットワーク文化を調査する学術研究プロジェクトの制作を30年以上経験している。

Frédéric-Charles Petit、投資家、データテクノロジーアドバイザー

トルナの創設者、アートコレクター意思決定及び消費者への洞察のための最新の研究と技術について、見識を持つ。有名なアートコレクター。

Louis-Christophe Laurent、ビジネスアドバイザー

成功した起業家で、金融取引ソフトウェアの世界的大手プロバイダーであるGL Tradeの共同創設者兼社長。ヨーロッパの金融業界をリーダー、情熱的なアートコレクター。

Michael Cebo、ビジネスアドバイザー

債券商品及びOTC市場におけるFintechの事業開発において10年以上の経験を持つ管理職員。価格設定データの商品化と金融不透明資産の価格設定の背景。

Wlodek Laskowski、ビジネスアドバイザー

経験豊富な投資銀行家で、20年に及ぶ新興企業での経験を活かして、シリアル起業家とVCに転職。不明瞭な資産の種類を変革させることに特に関心を持つ

Piotr Warchol、PhD、データサイエンスアドバイザー

理論物理学者及びデータ科学実務家ビジネス志向のデータサイエンスプロジェクトに携わった経験を持ち、クラクフのヤギェウオ大学にて物理学、天文学及び応用コンピュータサイエンス学部で機械学習の授業を行っている。

Tomasz Korwin-Gajkowski、ブロックチェーンアドバイザー

2011年以来、DLT/ブロックチェーンと暗号通貨の分野に深く関わっているソフトウェア開発者 Crypto @ CracowとP2P.Systemsの共同創設者。KodakOneのブロックチェーンチームのリーダー。

François Blanc、アートマーケット及びコミュニケーションアドバイザー

美術市場に特化したコミュニケーションエージェンシーであるCommunic'Artの創設者兼CEO。美術市場の詳細について深い知識を持つ。

Christophe Gaillard、アートマーケットアドバイザー

パリのChristophe Gaillard国際アートギャラリーの創設者兼CEO。美術市場や美術販売の発展についての幅広い知識を持つ。

Richard Kastelein、ICOアドバイザー

Blockchain Newsの創設者、CryptoAssets Design Groupの共同経営者、Blockchain Partnersのディレクター、ICObenchのICOの専門家ICO分野での経験をもたず起業家及び受賞歴のある出版者。

Elizbeth Frost、アートマーケットアドバイザー

キュレーター、活動家、演説家、作家で、美術業界でさまざまな分野で幅広い経験を積む。現在、インパクトや意味のある慈善事業のパートナーシップ及び企業と芸術団体をコラボレートするアートアドバイザー会社、H2A Internationalの創設者兼CEO。

Franck Levy、ビジネスアドバイザー

10年間の金融市場での経験を経て、起業家兼投資家となる。芸術学研究所の共同経営者、及び製品「Silhouette-lift」のヨーロッパの代理店のチーム管理と販売を担当。暗号通貨とICOに強く興味を持つ。

参考文献

- [1] Art Basel & UBS, The Art Market 2018
- [2] ArtTactic & Hiscox, Hiscox Online Art Trade Report 2017. A market yet to awaken?
- [3] TEFAF, Art Market Report. Online Focus
- [4] Deloitte Luxembourg & ArtTactic, Art & Finance Report 2017
- [5] Nina Larson, Fine Arts Experts Institute: Lab sleuths in Geneva help art world uncover fakes, 2014, http://artdaily.com/index.asp?int_sec=11&int_new=73562#.VDt7bhYZUsA
- [6] Olivier Pursche, Art: A Growing Asset Class, Forbes, 7 Nov 2017, <https://www.forbes.com/sites/advisor/2016/11/07/art-a-growing-asset-class/#d2cd92a3b13a>
- [7] Scott Reyburn, The Art Market Is Still Waiting for an Online Revolution, New York Times, 5 May 2017, <https://www.nytimes.com/2017/05/05/arts/auction-ecommerce-online-christies-sothebys.html>
- [8] Roger Aitken, How Blockchain Technology Is 'Disrupting' The Art Economy As We Know It, Forbes, 17 Aug 2017, <https://www.forbes.com/sites/rogeraitken/2017/08/17/how-the-blockchain-is-disrupting-the-art-economy-as-we-know-it/#4434e2dd74fe>
- [9] Art Basel & UBS, The Art Market 2017
- [10] Things You Need to Know Before You Lend Your Art <https://www.artworkarchive.com/blog/9-things-you-need-to-know-before-you-lend-your-art>
- [11] Don Thompson, The Orange Balloon Dog. Bubbles, Turmoil and Avarice in the Contemporary Art Market, Douglas & McIntyre, 2017
- [12] Artprice, Artprice Takes a Major Stake in the OTC Art Market Which Generates a Volume of Transactions Roughly 7 to 9 Times Higher than the Traditional Art Market, 30 June 2017, <https://www.prnewswire.com/news-releases/artprice-takes-a-major-stake-in-the-otc-art-market-which-generates-a-volume-of-transactions-roughly-7-to-9-times-higher-than-the-traditional-art-market-631728183.html>

ARTK token and initial coin offering

General information

The Arteia token (hereinafter referred to as “ARTK Token”) does not have the legal qualification of a security, since it does not give any rights to dividends or interests. The sale of ARTK Tokens is final and non-refundable. ARTK Tokens are not shares and do not give any right to participate to the general meeting of Arteia International AG, a company incorporated in Zug, Switzerland (hereinafter referred to as “Arteia”). ARTK Tokens cannot have a performance or a particular value outside the Arteia Platform. ARTK Tokens shall therefore not be used or purchased for speculative or investment purposes. The purchaser of ARTK Tokens is aware that national securities laws, which ensure that investors are sold investments that include all the proper disclosures and are subject to regulatory scrutiny for the investor’s protection, are not applicable.

Anyone purchasing ARTK Tokens expressly acknowledges and represents that she/he/it has carefully reviewed this White Paper and fully understands the risks, costs and benefits associated with the purchase of ARTK Tokens.

Knowledge required

The purchaser of ARTK Tokens undertakes that she/he/it understands and has significant experience of cryptocurrencies, blockchain technology and services, and that she/he/it fully understands the risks associated with the Initial Coin Offering (“ICO”) as well as the mechanism related to the use of cryptocurrencies (incl. storage).

Arteia shall not be responsible for any loss of ARTK Tokens or situations making it impossible to access ARTK Tokens, which may result from any actions or omissions of the user or any person undertaking to acquire ARTK Tokens, as well as in case of hacker attacks.

Risk

Acquiring ARTK Tokens and storing them involves various risks, in particular the risk that Arteia may not be able to launch its operations, develop its blockchain, and provide the promised services. Therefore, and prior to acquiring ARTK Tokens, any interested person should carefully consider the risks, cost and benefits of acquiring ARTK Tokens in the context of the ICO and, if necessary, obtain any independent advice in this regard. Any interested person who is not in the position to accept or to understand the risks associated with Arteia activity (incl. the risks related to the non-development of the Arteia Platform) or any other risks as indicated in the Terms & Conditions of the ICO should not acquire ARTK Tokens.

Important disclaimer

This White Paper shall not and cannot be considered as an invitation to enter into an investment. It does not constitute or relate in any way nor should be considered as an offering of securities in any jurisdiction. The White Paper does not include nor contain any information or indication that might be considered as a recommendation or that might be used to base any investment decision. This document does not constitute an offer or an invitation to sell shares, securities or rights belonging to Arteia or any related or associated company. The ARTK Token is a utility token, which can be used only on the Arteia Platform and is not intended to be used as an investment.

The offering of ARTK Tokens is done in order to access the Arteia Platform, purchase services related exclusively to the latter and not for speculative purposes. The offering of ARTK Tokens on a platform is not

changing the legal qualification of the token, which remains a simple means for the use of the Arteia Platform and is not a security.

Arteia is not to be considered as advisor in any legal, tax or financial matters. Any information in the White Paper is given for general information purpose only and Arteia does not provide with any warranty as to the accuracy and completeness of this information. Given the lack of crypto-token qualifications in most countries, any person undertaking to acquire ARTK Tokens is strongly advised to carry out a legal and tax analysis concerning the purchase and ownership of ARTK Tokens according to her/his nationality and/or her/his/it place of residence or incorporation.

Arteia today is not a financial intermediary according to Swiss Law and is not required to obtain any authorization for Anti-Money Laundering purposes. This qualification may change in case Arteia will offer services, which will qualify as financial intermediary activity. In this case, Arteia shall be authorised as financial intermediary in Switzerland and the use of Arteia's services will require the positive conclusion of a Know Your Customer identification process according to Swiss Federal Act On Combating Money Laundering and Terrorist Financing.

The ARTK Token confers no direct or indirect right to Arteia's capital or income, nor does it confer any governance rights within Arteia; the ARTK Token is no proof of ownership or a right of control over Arteia and does not grant the purchaser any asset or share in Arteia, or in the Arteia Network. The ARTK Token does not grant to the purchaser any right of control or governance over Arteia's management or decision-making set-up.

Regulatory authorities are carefully scrutinizing businesses and operations associated to cryptocurrencies in the world. In that respect, regulatory measures, investigations or actions may impact Arteia's business and even limit or prevent it from developing its operations in the future. Any person undertaking to acquire ARTK Tokens must be aware that the Arteia business model, the White Paper or the Terms & Conditions may change or need to be modified because of new regulatory and compliance requirements from any applicable laws in any jurisdictions. In such a case, anyone undertaking to acquire ARTK Tokens acknowledge and understand that neither Arteia nor any of its affiliates shall be held liable for any direct or indirect loss or damage caused by such changes.

The Arteia Platform will function and provide access and services after the token according to the road map indicated the White Paper.

On concluding the commercial operation, the ARTK Tokens will be issued by a technical process referred to as "Blockchain". This is an open source IT protocol over which Arteia has no rights or liability in terms of its development and operation. The Token distribution mechanism will be controlled by a Smart Contract; this involves a computer program that can be executed on the Ethereum network or on any blockchain network that is compatible with Smart Contract programming language. Any person undertaking to acquire ARTK Tokens acknowledge and understand that Arteia (incl. its bodies and employees) assumes no liability or responsibility for any loss or damage that would result from or relate to the incapacity to use ARTK Tokens, except in case of intentional misconduct or gross negligence.

The ARTK Tokens are based on the Ethereum protocol. Therefore, any malfunction, unplanned function or unexpected operation of the Ethereum protocol may cause the ARTK Tokens to malfunction or operate in a way that is not expected. Ether, the native Ethereum protocol account unit may itself lose value in a similar way to the ARTK Tokens, and also in other ways.

Representations and warranties

By participating in the ICO, the purchaser agrees to the above and in particular, she/he represents and warrants that she/he/it:

- have read carefully the Terms & Conditions attached to the White Paper; agrees to their full

contents and accepts to be legally bound by them;

- is authorized and has full power to purchase ARTK Tokens according to the laws that apply in her/his/its jurisdiction of domicile/place of incorporation;
- is not a U.S. citizen, resident or entity (a "U.S. Person") nor is she/he/it purchasing ARTK Tokens or signing on behalf of a U.S. Person;
- is not a Chinese resident or entity nor is she/he/it purchasing ARTK Tokens or signing on behalf of a Chinese resident or entity;
- lives in a jurisdiction which allows Arteia to sell ARTK Tokens through a ICO without requiring any local authorization and are in compliance with the local, state and national laws and regulations when purchasing, selling and/or using ARTK Tokens;
- does not live in a jurisdiction which is qualifying token issued through an ICO as securities;
- is familiar with all related regulations in the specific jurisdiction in which she/he/it is based and that purchasing cryptographic tokens in that jurisdiction is not prohibited, restricted or subject to additional conditions of any kind;
- will not use the ICO for any illegal activity, including but not limited to money-laundering and the financing of terrorism;
- has sufficient knowledge about the nature of the cryptographic tokens and has significant experience with, and functional understanding of, the usage and intricacies of dealing with cryptographic tokens and currencies and blockchain based systems and services;
- purchases ARTK Tokens because she/he/it wishes to have access to the Arteia Platform;
- is not purchasing ARTK Tokens for the purpose of speculative investment or usage.

Governing law – arbitration

The purchaser acknowledges and accepts that the Arteia ICO operation is taking place within a Swiss legal environment that is still under development. The Parties agree to seek and amicable settlement prior to bringing any legal action. All disputes arising with the White Paper and any document provided in the context of the ICO, shall be resolved by arbitration in accordance with the Swiss Rules of International Arbitration of the Swiss Chambers of Commerce in force on the date when the Notice of Arbitration is submitted in accordance with these Rules. The arbitration panel shall consist of one arbitrator only. The seat of the arbitration shall be Zug, Switzerland. The arbitral proceedings shall be conducted in English.

ARTK Token Sale

TERMS AND CONDITIONS

The Terms and Conditions (the “T&C”) apply to the buyer of the Arteia Token (the ARTK Token”) and user of the Arteia Platform (the “User”). PLEASE READ THESE TERMS CAREFULLY BEFORE PARTICIPATING IN THE TOKEN SALE. THE T&C AFFECT YOUR OBLIGATIONS AND LEGAL RIGHTS, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WAIVERS OF RIGHTS AND LIMITATION OF LIABILITY. IF YOU DO NOT AGREE TO THESE TERMS, DO NOT PURCHASE ARTK TOKENS.

By purchasing the ARTK Tokens during the token sale period (the “Token Sale”), in the jurisdiction of Switzerland, you will be bound by these T&C, and all terms incorporated by reference. Your purchase of ARTK Tokens is subject to these T&C.

Applicability

1. The following T&C constitute the agreement (the “Agreement”) between Arteia International AG (hereinafter “Arteia” or the “Company”), a Swiss Company Limited by Shares incorporated in Zug, and you with respect to the purchase of the ARTK Tokens and the use of the services offered on the Arteia Platform. By using the services of Arteia, you agree to be bound by the T&C in its latest version. You are aware that Arteia may change this T&C at any time at its sole discretion. Your continued use of the Arteia Platform or your continued hold of ARTK Tokens, means that you accept any new or modified terms.

Services

2. The purpose of Arteia is to create a SaaS solution for collectors, providing them with a cataloguing application to inventory and manage their artworks and other collectibles. This will become the foundation for a decentralized platform allowing the actors within the art ecosystem to interact more efficiently.
3. Arteia’s goal is to create a network of nodes with art ecosystem partners willing to participate in this project and bring transparency to the fine art ecosystem like insurers, audit companies, art foundations, professionals and others.
4. The Arteia project is being made possible by contributions from the community in the form of a Token Sale. The proceeds from the Token Sale will enable the development of the Arteia platform (herein after referred to as the “Arteia Platform”). The Token Sale is therefore intended to give Users the ability to support and transact on the Arteia Platform.
5. The above Platform, in its final state within the blockchain, will combine several features related to the management of collectibles:
 - The Inventory Management Interface enabling Users to have a clean and precise look into the state of their collection;
 - The Event Management Tool enabling Users to record all the history of their artwork;
 - The Complete Financial Dashboard showing Users the collection’s value over time, the amount invested per artist, sale revenues or expiring insurances;
 - The Private and Public Showrooms allowing Users to share their collections with friends, clients or the wider public.

Furthermore, Users can create, edit and print a range of reports such as location reports, inventory sheets, stock sheets or catalogues.

The protocols developed by Arteia will enable the matching of buyers and sellers. This service enables collectors to have greater control over the price of their artworks and the means of buying them in fiat or in cryptocurrencies. The collectors can meet and agree on transactions without having to pass through an intermediary.

6. Arteia does not allow the deposit, withdrawal or direct exchange of assets between Users of the service. Arteia is not a market-maker. All purchase and disposal of crypto assets by Arteia take place through third-party exchanges, platforms or agents.

ARTK Token

7. The ARTK Token functions as a utility token on the Arteia Platform, which will allow Users the access of the Arteia Platform. Through the Token Sale, the Users acquire the rights to use the Arteia Platform.

8. The ARTK Token does not have the legal qualification as a payment token, since it is not intended to be used as a means of payment to acquire goods or services provided by third parties, or a means of money or value transfer. ARTK Tokens' purchase is final and non-refundable. The ARTK Token does not have the legal qualification as a security since it does not give any rights on dividends or interest. The ARTK Token is not a share and does not give any right to participate in the general meetings of the Company. ARTK Tokens cannot have a performance or a particular value outside the Arteia Platform. The purchase and use of ARTK Tokens shall therefore not be done for speculative usage.

9. The ARTK Tokens can be purchased during the Token Sale directly from the Company or after the Token Sale at the Company or any exchanger.

10. Any User purchasing ARTK Tokens expressly acknowledges and represents that she/he/it has carefully reviewed the T&C and fully understands the risks, costs and benefits associated with the purchase of this token as indicated in the T&C.

Knowledge required

11. The User undertaking to purchase ARTK Tokens in relation to the Token Sale should ensure that she/he/it understands and has significant experience of cryptocurrencies, blockchain systems and services, and that she/he/it fully understands the risks associated with the Token Sale as well as the mechanism related to the use and custody of cryptocurrencies.

12. Arteia shall not be responsible for any loss of ARTK Tokens or situations making it impossible to access to ARTK Tokens, which may result in any actions or omissions of the User or any person undertaking to acquire ARTK Tokens.

Voluntary Know Your Customer (KYC)

13. There will be a KYC procedure that any person undertaking to acquire ARTK Tokens shall perform in order to contribute to the Token Sale. The above persons accept that Arteia can refuse any payment which is not compliant with its internal due diligence.

Risks

14. Acquiring and storing ARTK Tokens involves various risks, in particular that Arteia may not be able to further develop its platform. Therefore, and prior to acquiring ARTK Tokens, any User should carefully consider the risks, costs, and benefits of acquiring ARTK Tokens within the Token Sale, and, if necessary, obtain independent advice in this regard. Any interested person who is not in the position to accept nor to understand the risks associated with the activity of Arteia or any other risks as indicated in the T&C, should not acquire ARTK Tokens, at this stage or later.

Important Disclaimer

15. The T&C shall not and cannot be considered as an invitation to enter into an investment. They do not constitute or relate in any way nor should they be considered as an offering of securities in any jurisdiction. The T&C do not include or contain any information or indication that might be considered as a recommendation or that might be used to base any investment decision. This document does not constitute an offer or an invitation to sell shares, securities or rights belonging to Arteia or any related or associated company. ARTK Tokens will be used as a utility token and is not intended to be used as an investment.

16. Any information in the T&C is given for general information purpose only and is relevant to the day it has been written and Arteia does not provide with any warranty as to the accuracy and completeness of this information now or in the future.

17. The offering of ARTK Tokens is done in order to access the Arteia Platform, purchase services related exclusively to the latter and not for speculative purposes.

18. Arteia is an operative entity managing the Arteia Platform. Arteia is not a financial intermediary according to Swiss Law and is not required to obtain any authorization for Anti Money Laundering purpose.

19. Regulatory authorities are carefully scrutinizing businesses and operations associated to cryptocurrencies in the world. In that respect, regulatory measures, investigations or actions may affect Arteia's business and even limit or prevent it from developing future operations. Any person undertaking to acquire ARTK Tokens must be aware that the Arteia business model and the T&C may change or need to be modified because of new regulatory and compliance requirements from any applicable laws in any jurisdictions. In such case, any person undertaking to acquire ARTK Tokens acknowledge and understand that neither Arteia nor any of its affiliates shall be held liable for any direct or indirect loss or damages caused by such changes.

20. Arteia plans to make its platform available at TGE. Users will be able to use their tokens on the platform.

21. Acquiring an ARTK Token shall not grant any right or influence over Arteia's organization and governance to the Users. These tokens will be issued by a technical process referred to as a "Blockchain". This is an open source IT protocol over which the Company has no rights or liability in terms of its development and operation. The token distribution mechanism will be controlled by a Smart Contract; this involves a computer program that can be executed on the Ethereum network or on another blockchain network that is compatible with the Smart Contract programming language. User acknowledge and understand therefore that Arteia (incl. its bodies and employees) assumes no liability or responsibility for any loss or damage that would result from or relate to the incapacity to use the ARTK Tokens, except in case of intentional misconduct or gross negligence.

22. The ARTK Token is based on the Ethereum protocol. Therefore, any malfunction, unplanned function or unexpected operation of the Ethereum protocol may cause the ARTK Token to malfunction or operate in a way that is not expected.

23. Employees of Arteia are allowed to operate with ARTK Tokens at market price if they are not in knowledge of information that may modify the price of the ARTK Token.

Representation and Warranties

24. By participating in the Token Sale, the User agrees to the T&C and in particular, she/he/it represents and warrants that she/he/it :

- i. is authorized and has full power to purchase ARTK Token according to the laws that apply in his/her/its jurisdiction of domicile/place of incorporation;
- ii. is not an U.S. citizen, resident or entity (a "U.S. Person") nor is she/he/it purchasing ARTK Tokens or signing on behalf of a U.S. Person;
- iii. is not a Chinese resident or entity nor is she/he purchasing ARTK Tokens or signing on behalf of a Chinese resident;
- iv. lives in a jurisdiction which allows Arteia to sell the ARTK Token through an ICO without requiring any local authorization and is in compliance with the local, state and national laws and regulations when purchasing, selling and/or using ARTK Tokens;
- v. does not live in a jurisdiction which is qualifying token issued through an ICO as securities
- vi. is familiar with all related regulations in the specific jurisdiction in which she/he/it is based and that purchasing cryptographic tokens in that jurisdiction is not prohibited, restricted or subject to additional conditions of any kind;
- vii. is not acting for the purpose of speculative investment;
- viii. will not use the Token Sale for any illegal activity, including but not limited to money laundering and the financing terrorism;
- ix. is solely responsible for determining whether the acquisition of ARTK Tokens is appropriate for her/him/it;
- x. is acquiring ARTK Token exclusively for use of the Arteia Platform;
- xi. understands the risks associated with the Token Sale (incl. the risks related to the non-development of Arteia Platform and operations);
- xii. understands the use of cryptocurrencies and its associated risks, and
- xiii. acknowledges and accepts that the Token Sale is taking place within a Swiss legal environment that is still under development.

Intellectual Property Rights

25. To the extent that copyright trademark or any other intellectual property rights exist in the Arteia Platform, such as software, know-how, analysis or programs, those existing and future copyrights and other intellectual and industrial rights (hereinafter "IP rights") belong solely to Arteia and its affiliated companies and you as a buyer do not and will not have any related rights in such IP Rights.

Limitation of Liability

26. Arteia, as well as its officers, directors, agents, joint ventures, employees, suppliers and advisors and

anyone on its behalf, assumes no liability or responsibility for any loss raised from the Token Sale, arising out of or related to the use of the Arteia Platform or any technical, interruption or malfunction of the Arteia Platform.

27. The limitation of liability set out above shall not be applicable in the event that Arteia, or an Arteia employee, has caused any damage by intentional misconduct or by gross negligence.

Severability

28. If any of the provisions of the T&C or of the Agreement are deemed to be invalid, void or unenforceable, the remaining provisions shall continue in full force and effect.

Applicable Law and Jurisdiction

29. The T&C are subject to and governed by Swiss Law to the exclusion of Swiss International Private Law and any International Treaties. Any User and Arteia agree to seek an amicable settlement prior to bringing any legal action. All disputes arising from or under these T&C and any other document related to the Token Sale shall be resolved by arbitration in accordance with the Swiss Rules of International Arbitration of the Swiss Chambers of Commerce in force on the date when the Notice of Arbitration is submitted in accordance with these rules. The arbitration panel shall consist of one arbitrator only. The seat of the arbitration shall be Zug, Switzerland. The arbitral proceedings shall be conducted in English.